

まほらいな市民大学の様子

令和7年11月6日（木）多文化共生講座・市民大学共催講座

『 やさしい日本語講座 』

講師 長野県県民文化部県民政策課

多文化共生係 岡 宮 美 樹 さん



伊那市では、誰もが暮らしやすい多文化共生社会の実現を目指しています。「やさしい日本語の活用」は、情報の受け取りに困難を抱える可能性のあるすべての方に簡単で分かりやすく伝えるスキルの一つになります。

講師の岡宮美樹さんから、上伊那圏域に居住する外国籍の方の現状や、「やさしい日本語」の必要性について話がありました。災害時の情報伝達や在留支援のために「やさしい日本語」が広まっているという話があり、受講生が実際に「やさしい日本語」に挑戦することも体験しました。

学生からは、「岡宮先生のわかりやすいお話を聞きました。やさしい日本語で相手の気持ちを確認しながら接したいと思います。」「やさしい日本語は、言葉も心もやさしい相手への思いやりが大切なんだと思ってうれしくなりました。使える機会があるといいなと思います。」「伊那市に住む外国人が多くなっていることは感じています。やさしい日本語の使い方について考えさせられました。」といった感想がありました。